



会津医療センター 感染症・呼吸器内科学講座

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学附属学術情報センター 公開日: 2019-04-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2000872

〔特別講演〕

橋本重厚. 血糖や血圧のコントロール困難な糖尿病に潜在する内分泌疾患. 喜多方医師会特別講演会; 20170228; 喜多方.

橋本重厚. 見直しを迫られる糖尿病治療戦略 ～インスリン分泌不全、インスリン抵抗性、不適切グルカゴン分泌を再考する～. 喜多方医師会学術講演会; 20170411; 喜多方.

橋本重厚. 転換期にある糖尿病治療. 第 87 回会津糖尿病懇話会; 20170824; 会津若松.

橋本重厚. 高齢者糖尿病患者におけるマルチモービディティ・ポリファーマシーへの対応～Weekly 製剤の意義～. 南会津郡医師会講演会; 20170926; 南会津.

橋本重厚. 感染制御において医療従事者が求められる医療安全と共通のコンピテンシー. 第 7 回宮城医療安全研修会; 20170929; 仙台.

橋本重厚. Polypharmacy, Multimorbidity を踏まえた高齢者糖尿病治療を考える. 十日会学術講演会; 20171023; 猪苗代.

齋藤拓朗, 橋本重厚, 添田暢俊, 大井川百合. 院内救急対応システムと組み合わせた転倒・転落発生時の初期対応シートの作成と運用について. 第 12 回医療の質・安全学会学術集会; 20171125; 千葉.

〔その他〕

橋本重厚. 糖尿病疾患関連の最新医学的知見・現場の実態等について. 協和発酵キリン社内研修会; 20170308; 福島.

橋本重厚. 動脈硬化性疾患治療について. サノフィ株式会社 社内勉強会; 20170601; 郡山.

橋本重厚. 2 型糖尿病治療の現状と課題. 喜多方の糖尿病治療を考える会; 20171121; 喜多方.

会津医療センター 感染症・呼吸器内科学講座

論 文

〔原 著〕

新妻一直. 【臨床細菌学の最新知見 MALDI-TOF MS、血流感染症】 MALDI-TOF MS 導入のその後 超音波

前処理法を用いた MALDI-TOF MS による抗酸菌の同定. 臨床と微生物. 201709; 44(5):415-419.

著 書・訳 書

新妻一直. 3 感染症; 4 類 感染症 オウム病. In: 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 総編集. 今日の治療指針 2017 私
はこう治療している. 東京: 医学書院; 201701. p.178.

研究発表等

〔研究発表〕

新妻一直, 齋藤美和子, 小柴静子, 鈴木朋子, 鹿住裕子, 御手洗聡. 超音波を用いた MALDI-TOF MS の迅速
な抗酸菌前処理法の検討. 第 28 回日本臨床微生物学会総会・学術集会; 20170120; 長崎. 抄録集. 289.

小野寺啓, 二階堂雄文, 峯村浩之, 鈴木朋子, 新妻一直. 若年発症の肺 Langerhans 細胞組織球症 (肺 LCH)
の 1 例. 第 104 回呼吸器学会東北地方会; 20170304; 仙台.

峯村浩之, 齋藤美和子, 二階堂雄文, 鈴木朋子, 新妻一直. 間質性陰影の精査から濾胞性リンパ腫と診断され
た 1 例. 第 104 回呼吸器学会東北地方会; 20170304; 仙台.

薬師寺直哉, 峯村浩之, 齋藤美和子, 鈴木朋子, 新妻一直. 柴苓湯・柴朴湯による薬剤性肺炎が強く疑われた 1
例. 第 104 回呼吸器学会東北地方会; 20170304; 仙台.

新妻一直, 小柴静子, 齋藤美和子, 鈴木朋子, 近松絹代, 高木明子, 御手洗聡. 超音波を用いた MALDI-TOF
MS の迅速な抗酸菌前処理法の検討. 第 92 回日本結核病学会総会; 20170323; 東京. 結核. 92(2):229.

齋藤美和子, 二階堂雄文, 関根聡子, 鈴木朋子, 棟方 充, 新妻一直. SLE による胸膜炎から発生し、少量ス
テロイド投与にて消退を来した胸壁悪性リンパ腫の 1 例. 第 57 回日本呼吸器学会学術講演会; 20170421-23; 東京.

峯村浩之, 齋藤美和子, 新妻一直. 発症直後に摘出された PTP 包装カプセルによる気道異物の一例. 第 40 回日
本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20170614; 長崎.

長谷川貴之, 齋藤美和子, 峯村浩之, 鈴木朋子, 新妻一直, 角田三郎, 大田雅嗣. 多発性骨髄腫と SLE に合
併した播種性 Mycobacterium avium s 症の 1 例. 第 211 回日本内科学会東北地方会; 20170617; 仙台.

新妻一直, 小柴静子. コバス TaqMan MAI 法®における M.intracellulare 同定の問題点 M.lentiflavum 分離の
臨床的意義. 第 66 回日本医学検査学会; 20170617; 千葉.

梅田隆志, 原 裕樹, 齋藤美和子, 鈴木朋子, 棟方 充, 新妻一直. 高齢発症ループス肺炎の 1 例. 第 105 回
日本呼吸器学会東北地方会; 20170909; 盛岡.

原 裕樹, 梅田隆志, 齋藤美和子, 鈴木朋子, 棟方 充, 新妻一直, 宗像源之, 酒井一吉, 鈴木啓二. ヘレ

ベス脳炎の加療中に診断された多発筋炎の1例. 第212回日本内科学会東北地方会; 20170909; 盛岡.

樋口光徳, 峯村浩之, 鈴木朋子, 齋藤美和子, 新妻一直, 根本鉄太郎, 松井田元, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. Wine cup stoma 法による上気管支形成にて左肺全摘術を回避した左肺扁平上皮癌の1例. 第58回日本肺癌学会学術集会; 20171014; 横浜. 肺癌. 57(5):410.

齋藤美和子, 梅田隆志, 鈴木朋子, 新妻一直. パラインフルエンザウイルス肺炎の2例. 第65回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第64回日本化学療法学会東日本支部総会; 20171031; 東京.

会津医療センター 精神医学講座

論 文

〔原 著〕

Mashiko H, Yabe H, Maeda M, Itagaki S, Kunii Y, Shiga T, Miura I, Suzuki Y, Yasumura S, Iwasa H, Niwa SI, Ohtsuru A, Abe M. Mental Health Status of Children After the Great East Japan Earthquake and Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident. *Asia Pacific Journal of Public Health*. 201703; 29(suppl_2):131S-138S.

Kondo T, Imamura K, Funayama M, Tsukita K, Miyake M, Ohta A, Woltjen K, Nakagawa M, Asada T, Arai T, Kawakatsu S, Izumi Y, Kaji R, Iwata N, Inoue H. iPSC-Based Compound Screening and In Vitro Trials Identify a Synergistic Anti-amyloid β Combination for Alzheimer's Disease. *Cell Reports*. 201711; 21(8):2304-2312.

Hirayama-Kurogi M, Takizawa Y, Kunii Y, Matsumoto J, Wada A, Hino M, Akatsu H, Hashizume Y, Yamamoto S, Kondo T, Ito S, Tachikawa M, Niwa SI, Yabe H, Terasaki T, Setou M, Ohtsuki S. Downregulation of GNA13-ERK network in prefrontal cortex of schizophrenia brain identified by combined focused and targeted quantitative proteomics. *Journal of Proteomics*. 201703; 158:31-42.

Seiriki K, Kasai A, Hashimoto T, Schulze W, Niu M, Yamaguchi S, Nakazawa T, Inoue KI, Uezono S, Takada M, Naka Y, Igarashi H, Tanuma M, Waschek JA, Ago Y, Tanaka KF, Hayata-Takano A, Nagayasu K, Shintani N, Hashimoto R, Kunii Y, Hino M, Matsumoto J, Yabe H, Nagai T, Fujita K, Matsuda T, Takuma K, Baba A, Hashimoto H. High-Speed and Scalable Whole-Brain Imaging in Rodents and Primates. *Neuron*. 201706; 94(6):1085-1100.

Kawakatsu S, Kobayashi R, Hayashi H. Typical and atypical appearance of early-onset Alzheimer's disease: A clinical, neuroimaging and neuropathological study. *Neuropathology*. 201704; 37(2):150-173.